

第 43 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会九州地区選考会 競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則(以下、競技規則という)および競技会における広告および展示物に関する規程、本大会競技注意事項および申し合わせ事項に基づいて実施する。

2. 招集について

(1) 招集所は、第 4 コーナー付近に設置する。

(2) 招集は、以下の手順で行う。

① 招集開始時刻になり次第、招集所において、競技者のシューズ、スパイク、アスリートビブス、商標について確認する。商標に関しては、「競技会における広告および展示物に関する規程」および「3. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について」に従い、確認を行う。

② スタート場所において、競技開始10分前を目安に終コールを行う。

(3) 代理人による招集は認めない。必ず選手自身が招集を受けること。

(4) 招集完了時刻に遅れた場合は、出場を認めないので十分に注意すること。

(5) 招集開始時刻と招集完了時刻は、本連盟のホームページに掲載する「競技日程」を確認すること。

3. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」により、競技者が競技場内で着用する衣類等に表示できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの数と大きさについては、以下の通りである。事前に確認しておくこと。違反となる場合には、テープ等でマスキングを行う。

(1) アスリートキット

① 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンス等)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット(トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット)

・ 製造会社名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内

・ スポンサー名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内

ただし、上下全く同一のものでなければならない

・ 所属団体名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ

上衣後ろは高さ4cm以内、他は5cm以内 それぞれ長さは問わない

・ 学校名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ 大きさは問わない

② 競技中に競技者が着用するその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンド等)

・ 製造会社名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内、高さ3cm以内

・ 所属団体名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内

・ 都道府県名/ロゴ、学校名/ロゴ 大きさは問わない

(2) 個人の所有物およびアクセサリー

① タオル

- ・ 製造会社名/ロゴ タオル1枚につき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ タオル1枚につき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない

② バッグ

- ・ 製造会社名/ロゴ 数は問わない 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ 1つのバッグにつき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない

※ スポンサー名/ロゴのうち1つを、以下に変更できる

- ・ 所属団体名/ロゴ 1つ 高さ5cm以内 長さは問わない
- ・ 学校名/ロゴ 1つ 大きさは問わない

③ 飲料ボトル

- ・ スポンサー名/ロゴ 1つの飲料ボトルにつき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内

※ ペットボトルを持ち込む場合は、ラベルをはがすこと

4. 靴底の厚さに関する規定について

本大会では、競技規則 TR 5.2 に基づき、靴底の厚さが 20mm を超える競技用靴を着用する競技者の出場を認めない。

5. 不出場について

- (1) 大会の運営を円滑に進めるため、競技者は不出場を極力避けること。やむを得ず不出場となる場合は、大会当日、不出場届(インフォメーション・センターで配付)に必要事項を記入して、招集所(第4コーナー付近に設置)とインフォメーション・センター(メインスタンド下中央付近に設置)の2カ所に提出し、承認を得ること。
- (2) 不出場届を提出する際は、必ず申込責任者の印鑑を持参すること。
- (3) 大会当日の不出場届の提出により、当該大学において選考会の部に出場する選手が6名未満となった場合に限り、日本陸連エントリーシステムのチームエントリーに名前がある者の中から選手の追加エントリーを認める。
- (4) 無断での不出場に対しては、その競技者の今後の本連盟主催大会の出場を認めない等の厳しい処分を課す場合があるので、十分に注意すること。

6. アスリートビブスと腰ナンバーカードについて

- (1) アスリートビブスは、出場校受付の際に配付するものを使用すること。

※学連のものとは異なるので注意すること。

- (2) アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。アスリートビブスの折曲げは禁止する。

- (3) アスリートビブスは、大学受付で1名につき2枚配布する。

- (4) 本大会では、写真判定装置ならびに周回システムを使用するため、競技者は、招集所で配付される腰ナンバーカードを両腰やや後方に数字が見えるようにつけること。なお、周回の確認のためのトランスポンダー付きの腰ナンバーカードを左腰につけ、通常の腰ナンバーカードは右腰に付けること。このとき、競技中に外れることがないよう確実につけるようにすること。

- (5) 本大会では、トランスポンダー付きの腰ナンバーおよび通常の布製の腰ナンバーカードを使用するため、フィニッシュ後に返却すること。紛失した場合は弁償となる。

※競技規則TR 5.7～5.11を参照すること。

7. 競技について

- (1) 不正スタートをした競技者は失格とする。

※競技規則TR 16.8を確認すること。

- (2) スタートの合図は「On Your Marks」で行う。

- (3) 大会当日の気象条件により給水を設置することがある。

- (4) 大会当日の状況を見て、インレーンとアウトレーンへの振り分けを行う。競技役員の指示に従うこと。

- (5) フィニッシュの際は4レーンより外側のレーンでゴールすること。

8. 順位の決定および代表校の選考方法

- (1) 選考会の部において、6月16日(月)までに提出された「メンバーエントリー」の正選手の欄に名前があり、かつ完走した選手の中から、上位6名のタイムを合計して順位を決定する。合計タイムが同じ場合は、上位8名の順位の数字の合計が少ない大学を上位とし、上位8名の順位の数字の合計も同じ場合は、当該大学の中で最も順位の良い選手が所属する方を上位とする。

- (2) 選考会の部において1位となった大学は、第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に九州地区代表として出場することができる。ただし、代表校として選出された大学があらかじめ不出場の意思表示をした場合は、次の順位の大学を繰り上げることとする。

- (3) 選考会の部において、6月16日(月)までに提出された「メンバーエントリー」の正選手の欄に名前があり、かつ完走した選手が6名に満たない場合、当該大学は失格とする。なお、完走した選手個人の記録は公認記録となるものとする。

9. 表彰について

閉会式において、選考会の部で3位以内となった大学に、賞状とトロフィーを授与する。

10. 抗議について

- (1) 抗議をする際は、競技規則TR 8に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人が審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 抗議に対する審判長の裁定を不服とし、上訴する際は、その競技者に代わるチームの代表者による上訴申立書を、預託金(10,000円)を添えて提出しなければならない。この預託金は、上訴が受け入れられなかった場合、没収される。

11. 各書類の配付場所と提出場所について

書類名	配付場所	提出場所
不出場届	インフォメーション・センター	招集所とインフォメーション・センター
記録証明書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
上訴申立書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター(要預託金)

12. その他

- (1) 競技場練習については、本連盟のホームページに掲載する「**競技場練習について**」を確認すること。
- (2) 記録証明書の発行を希望する競技者は、300円を持参したうえでインフォメーション・センターに申し出ること。
- (3) 競技結果等は、記録処理終了後に随時、本大会速報サイトで発表を行う。速報サイトについては、本連盟のホームページや本大会のプログラムを確認すること。記録掲示板は設置しないので注意すること。
- (4) 競技場図は、本連盟のホームページに掲載する「**申し合わせ事項**」に掲載している。

※ 大会運営上の都合により、「第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会九州地区選考会 競技注意事項」の内容を変更する場合がある(大会期間中を含む)。

※ 以上の内容以外でも特別に競技役員から指示があった場合は、必ず従うこと。